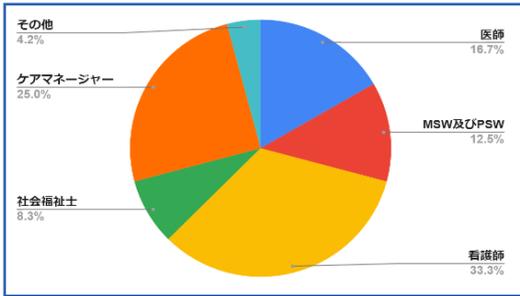


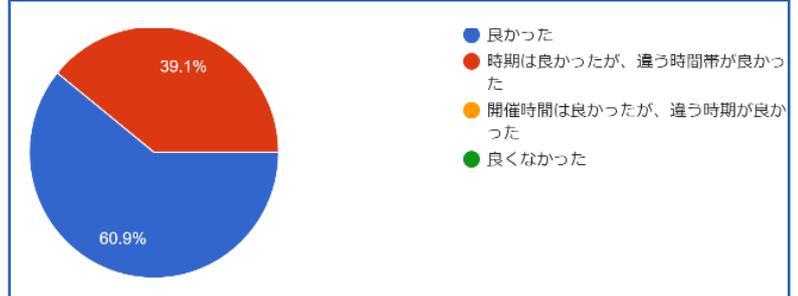
2021年12月22日 成年後見制度研修会アンケート結果

参加者：40名(内関係者：9名) アンケート回収率：77%

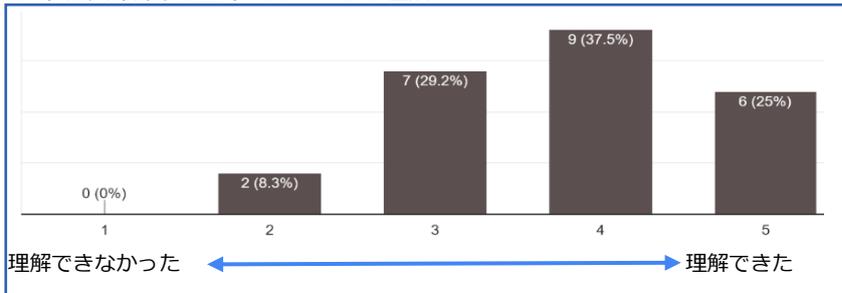
1 職業



2 研修の開催時期・時間



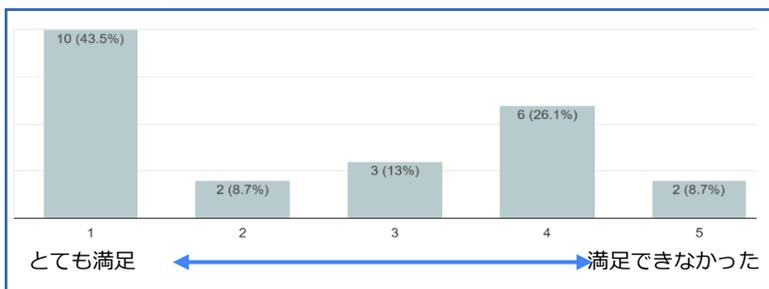
3 成年後見制度の基本についての理解



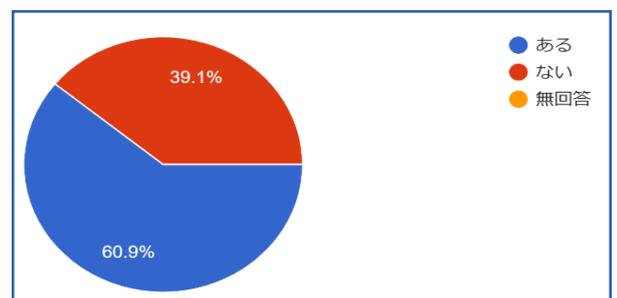
4 その理由

お話しが上手かった
 理解するのにもう少し時間があればよかった
 事例から入り概要を展開する方が伝わりやすいと思いました。
 今まで依頼された診断書や鑑定書を医師が記入したものをお渡ししていた。その先の流れや種類に関しては、勉強不足だったため、今後理解を深める必要があると思った。
 言葉が聞き慣れず頭にスッと入りにくい。
 分かりやすく、丁寧に講演していただきました。ありがとうございました。
 わかりやすく説明して下さり良かったです
 少し話のスピードが速かったのと言葉の定義がわからなかった事もあり、後で調べようと思います
 申請時のポイントを知ることが出来た
 楽しかった
 それぞれの立場の考え方がわかった
 スピードがあり理解するのが大変でした
 本日の内容については、わかりやすい説明だったため理解できた
 どんな時にどのような人が対象なのかもっと詳しく知りたかった。まず、その際にどこに相談したらいいのか申請から決定までの流れを知りたかった
 信託、預貯金の説明など始めて聞く内容も沢山あり、他の説明もパワーポイントが見易く分かり易く、保存版になります。

5 講義の内容



6 これまで後見人と連携したことがあるか



7 認知症の方との関りや後見制度で困っている事

独居の高齢者

認知症の方の徘徊など

終末期の意思決定

以前のケースですが、後見人が専門職であるその方の身内で、お金を残す念書を本人に書かせ、独居は難しいにも関わらず施設入居に消極的で動いてもらえず、本人は不安で頻回に臨時往診することとなっていた。

後見人が必要と思っても、上手く繋がって行かないように思う。

後見相当の方を法人後見で受任し、担当させていただいています。その場とはいえ、本人に住所変更や家財処分などの許可を得ることに意味があると思ってやっています。私としては後見であったとしても、やった方が良いと考えていますが、それはやるべきなのかとふと疑問に思うことがあります。

入院後に発覚した場合、期間制限があり入院中だけでは解決できない

時間がかかる事 申請の費用がそれなりにかかること

補佐や補助の方が一度は利用同意してもすぐ忘れてたり、怒ったり、拒否したりされる

後見制度まで進めて行く事が難しい

仕事をしない後見人に困る

特に独居の方の徘徊やワクチン接種の申し込み、急な入院時等たくさんある

どのタイミングが後見人を立てるべき時期かわからない。

8 成年後見制度でもっと知りたい事はありますか

費用なども知りたい

相談窓口が増えたら良いと思います

類型について詳しく教えて欲しかった

まずは、何処に発信すれば良いのかがよく分からない。

今後の動向

勉強不足なのでもっと学習します(特に診断書など入院中に関わる事)

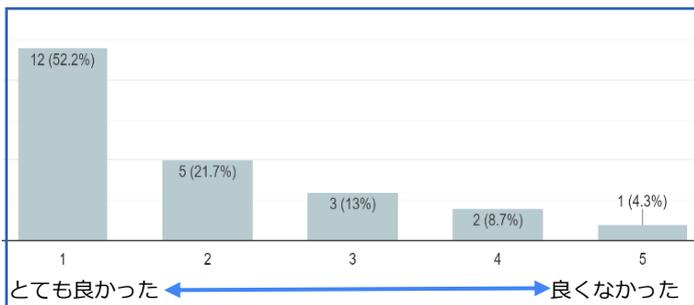
任意後見やその他のサービスについても知りたいと思った(かなり複雑なので)

任意後見について知りたかった(複数回答)

もう少し時間をかけて何から始めるのか等、具体的に手順等知りたいと思った。

どれくらいの人が利用しているのか、敷居が高くないのか、費用、決定までの期間。

9 グループワークについて



10 グループワークは今後の業務に生かせるか

